

【表紙】

【提出書類】	半期報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年12月25日
【計算期間】	第13期中 (自 平成25年3月26日 至 平成25年9月25日)
【ファンド名】	年金積立 グローバル・ラップ・バランス (成長型)
【発行者名】	日興アセットマネジメント株式会社
【代表者の役職氏名】	代表取締役 村上 雅彦
【本店の所在の場所】	東京都港区赤坂九丁目7番1号
【事務連絡者氏名】	雄谷 敦史
【連絡場所】	東京都港区赤坂九丁目7番1号
【電話番号】	03-6447-6147
【縦覧に供する場所】	該当事項はありません。

1【ファンドの運用状況】

以下の運用状況は2013年10月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）【投資状況】

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
親投資信託受益証券	日本	1,756,054,631	99.20
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）	-	14,087,255	0.80
合計（純資産総額）		1,770,141,886	100.00

（２）【運用実績】

【純資産の推移】

期別		純資産総額（百万円）		1口当たり純資産額(円)	
		分配落ち	分配付き	分配落ち	分配付き
第3計算期間末	2004年 3月25日	119	120	1.1113	1.1213
第4計算期間末	2005年 3月25日	181	182	1.1789	1.1889
第5計算期間末	2006年 3月27日	382	385	1.3797	1.3897
第6計算期間末	2007年 3月26日	1,102	1,109	1.4511	1.4611
第7計算期間末	2008年 3月25日	1,159	1,169	1.2465	1.2565
第8計算期間末	2009年 3月25日	1,083	1,083	0.9941	0.9941
第9計算期間末	2010年 3月25日	1,332	1,344	1.1586	1.1686
第10計算期間末	2011年 3月25日	1,363	1,375	1.1168	1.1268
第11計算期間末	2012年 3月26日	1,407	1,419	1.1378	1.1478
第12計算期間末	2013年 3月25日	1,644	1,657	1.3188	1.3288
2012年10月末日		1,380	-	1.1128	-
11月末日		1,429	-	1.1455	-
12月末日		1,483	-	1.1964	-
2013年 1月末日		1,576	-	1.2678	-
2月末日		1,595	-	1.2850	-

3月末日	1,654	-	1.3167	-
4月末日	1,737	-	1.3810	-
5月末日	1,742	-	1.3910	-
6月末日	1,698	-	1.3585	-
7月末日	1,723	-	1.3795	-
8月末日	1,706	-	1.3713	-
9月末日	1,740	-	1.4169	-
10月末日	1,770	-	1.4455	-

【分配の推移】

期	期間	1口当たりの分配金（円）
第3期	2003年 3月26日～2004年 3月25日	0.0100
第4期	2004年 3月26日～2005年 3月25日	0.0100
第5期	2005年 3月26日～2006年 3月27日	0.0100
第6期	2006年 3月28日～2007年 3月26日	0.0100
第7期	2007年 3月27日～2008年 3月25日	0.0100
第8期	2008年 3月26日～2009年 3月25日	0
第9期	2009年 3月26日～2010年 3月25日	0.0100
第10期	2010年 3月26日～2011年 3月25日	0.0100
第11期	2011年 3月26日～2012年 3月26日	0.0100
第12期	2012年 3月27日～2013年 3月25日	0.0100
当中間期	2013年 3月26日～2013年 9月25日	-

【収益率の推移】

期	期間	収益率（％）
第3期	2003年 3月26日～2004年 3月25日	18.24
第4期	2004年 3月26日～2005年 3月25日	6.98
第5期	2005年 3月26日～2006年 3月27日	17.88
第6期	2006年 3月28日～2007年 3月26日	5.90
第7期	2007年 3月27日～2008年 3月25日	13.41
第8期	2008年 3月26日～2009年 3月25日	20.25
第9期	2009年 3月26日～2010年 3月25日	17.55
第10期	2010年 3月26日～2011年 3月25日	2.74
第11期	2011年 3月26日～2012年 3月26日	2.78
第12期	2012年 3月27日～2013年 3月25日	16.79
当中間期	2013年 3月26日～2013年 9月25日	8.05

(注)各計算期間の収益率は、計算期間末の基準価額（分配落ち）に当該計算期間の分配金を加算し、当該計算期間の直前の計算期間末の基準価額（分配落ち。以下「前期末基準価額」といいます。）を控除した額を前期末基準価額で除して得た数に100を乗じた数です。

2【設定及び解約の実績】

期	期間	設定口数（口）	解約口数（口）
第3期	2003年 3月26日～2004年 3月25日	40,412,235	14,259,613
第4期	2004年 3月26日～2005年 3月25日	55,809,607	9,859,222
第5期	2005年 3月26日～2006年 3月27日	142,126,688	18,553,577
第6期	2006年 3月28日～2007年 3月26日	557,070,825	74,768,056
第7期	2007年 3月27日～2008年 3月25日	263,647,788	92,667,277
第8期	2008年 3月26日～2009年 3月25日	247,693,261	88,259,159
第9期	2009年 3月26日～2010年 3月25日	205,059,624	144,560,667
第10期	2010年 3月26日～2011年 3月25日	176,943,582	106,205,799
第11期	2011年 3月26日～2012年 3月26日	143,794,013	128,065,769
第12期	2012年 3月27日～2013年 3月25日	147,752,638	137,218,352
当中間期	2013年 3月26日～2013年 9月25日	101,529,192	120,062,307

（参考）日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2013年10月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	43,540,249,200	99.02
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）	-	432,409,369	0.98
合計（純資産総額）		43,972,658,569	100.00

（参考）日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2013年10月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	日本	14,082,440,200	94.34
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）	-	845,539,872	5.66
合計（純資産総額）		14,927,980,072	100.00

（参考）日本債券グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2013年10月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	日本	24,090,662,000	57.48
地方債証券	日本	114,950,000	0.27
特殊債券	日本	1,894,068,000	4.52
	韓国	100,372,540	0.24
	小計	1,994,440,540	4.76
社債券	日本	13,334,702,743	31.82
	アメリカ	200,322,000	0.48
	フランス	504,257,000	1.20
	オーストラリア	205,552,000	0.49
	オランダ	200,782,000	0.48
	スウェーデン	200,652,000	0.48
	韓国	600,414,332	1.43
	小計	15,246,682,075	36.38
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）	-	465,746,886	1.11
合計（純資産総額）		41,912,481,501	100.00

（参考）北米株式グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2013年10月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	42,049,885,736	85.52
	カナダ	1,758,314,645	3.58
	スイス	813,437,808	1.65
	オランダ	1,222,278,746	2.49
	アイルランド	464,197,689	0.94
	小計	46,308,114,624	94.18
出資金	アメリカ	709,449,516	1.44
投資証券	アメリカ	1,373,277,035	2.79
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）	-	778,688,097	1.58
合計（純資産総額）		49,169,529,272	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約先物取引	買建	—	5,309,697	0.01
	売建	—	238,592,662	0.49

（注）為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

（参考）欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2013年10月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	292,087,950	0.71
	カナダ	77,679,229	0.19
	ドイツ	4,835,305,791	11.68
	イタリア	760,953,527	1.84
	フランス	5,827,301,165	14.08
	イギリス	12,429,855,234	30.03
	スイス	7,584,342,656	18.32
	バミューダ	453,430,273	1.10
	オランダ	2,569,294,564	6.21
	スペイン	494,415,502	1.19
	ベルギー	1,189,689,871	2.87
	スウェーデン	1,853,056,795	4.48
	オーストリア	273,624,045	0.66
	デンマーク	1,324,277,296	3.20
	アイルランド	328,519,021	0.79
	トルコ	147,227,116	0.36
	ポルトガル	756,596,324	1.83
	小計	41,197,656,359	99.53
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）	-	196,220,005	0.47
合計（純資産総額）		41,393,876,364	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約先物取引	買建	—	13,758,204	0.03
	売建	—	136,812,501	0.33

（注）為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

（参考）アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2013年10月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
株式	アメリカ	384,079,746	2.67
	オーストラリア	8,339,030,915	58.03
	イギリス	110,180,448	0.77
	バミューダ	336,691,418	2.34
	香港	2,983,685,053	20.76
	シンガポール	1,608,536,444	11.19
	アイルランド	267,744,658	1.86
	中国	37,772,213	0.26
	小計	14,067,720,895	97.89
投資証券	オーストラリア	185,856,295	1.29
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）	-	117,185,155	0.82
合計（純資産総額）		14,370,762,345	100.00

（参考）海外債券グローバル・ラップマザーファンド

以下の運用状況は2013年10月31日現在です。

・投資比率とはファンドの純資産総額に対する当該資産の時価比率をいいます。

（１）投資状況

資産の種類	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
国債証券	アメリカ	4,004,157,825	19.12
	カナダ	369,081,166	1.76
	ドイツ	2,066,120,240	9.87
	イタリア	2,381,650,792	11.37
	フランス	2,174,213,440	10.38
	オーストラリア	228,939,635	1.09
	イギリス	2,113,732,895	10.09
	スイス	29,940,040	0.14
	シンガポール	81,090,975	0.39
	マレーシア	150,369,054	0.72
	オランダ	524,399,315	2.50
	スペイン	1,271,752,500	6.07
	ベルギー	561,778,225	2.68
	スウェーデン	191,329,080	0.91
	ノルウェー	131,192,094	0.63
	オーストリア	383,452,245	1.83
	フィンランド	167,558,299	0.80
	デンマーク	208,638,906	1.00
	メキシコ	278,729,865	1.33
	アイルランド	188,704,741	0.90
	ポーランド	142,344,348	0.68
	南アフリカ	97,704,571	0.47
	小計	17,746,880,251	84.74
地方債証券	アメリカ	60,283,992	0.29
特殊債券	アメリカ	35,462,231	0.17
	ドイツ	121,622,194	0.58
	フランス	80,425,625	0.38
	国際機関	124,829,994	0.60
	小計	362,340,044	1.73
社債券	アメリカ	1,253,240,400	5.98
	カナダ	142,244,520	0.68
	イギリス	115,120,032	0.55
	シンガポール	54,408,649	0.26
	オランダ	55,276,009	0.26
	ベルギー	60,369,978	0.29
	英ヴァージン諸島	50,335,463	0.24
	小計	1,730,995,051	8.27
コール・ローン等、その他資産（負債控除後）	-	1,041,968,633	4.98
合計（純資産総額）		20,942,467,971	100.00

その他の資産の投資状況

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
その他先物取引	売建	アメリカ	49,131,862	0.23
債券先物取引	買建	アメリカ	3,363,386,228	16.06
	買建	ドイツ	530,543,819	2.53
	買建	カナダ	12,351,018	0.06
	売建	イギリス	919,688,702	4.39
	売建	アメリカ	801,304,967	3.83
	売建	ドイツ	598,556,222	2.86
	売建	オーストラリア	467,920,679	2.23

(注)先物取引は、主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しています。

資産の種類	建別	国・地域	時価合計（円）	投資比率（％）
為替予約先物取引	買建	—	3,844,904,957	18.36
	売建	—	3,791,449,081	18.10

(注)為替予約取引は、わが国における対顧客先物相場の仲値で評価しています。

3【ファンドの経理状況】

- (1) 当ファンドの中間財務諸表は、「中間財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和52年大蔵省令第38号）並びに同規則第38条の3及び第57条の2の規定により、「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）に基づき作成しております。
- なお、中間財務諸表に記載している金額は、円単位で表示しております。
- (2) 当ファンドは、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当中間計算期間（平成25年3月26日から平成25年9月25日まで）の中間財務諸表について、あらた監査法人による中間監査を受けております。

中間財務諸表

年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）

（１）【中間貸借対照表】

（単位：円）

	前計算期間末 平成25年 3 月25日現在	当中間計算期間末 平成25年 9 月25日現在
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	23,000,913	26,003,757
親投資信託受益証券	1,631,928,610	1,737,343,621
未収入金	12,734,471	1,105,348
未収利息	36	41
流動資産合計	1,667,664,030	1,764,452,767
資産合計	1,667,664,030	1,764,452,767
負債の部		
流動負債		
未払収益分配金	12,473,517	-
未払解約金	86,010	1,419,438
未払受託者報酬	387,389	456,960
未払委託者報酬	9,686,219	11,425,506
その他未払費用	37,913	44,721
流動負債合計	22,671,048	13,346,625
負債合計	22,671,048	13,346,625
純資産の部		
元本等		
元本	1,247,351,781	1,228,818,666
剰余金		
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	397,641,201	522,287,476
（分配準備積立金）	129,988,903	118,079,211
元本等合計	1,644,992,982	1,751,106,142
純資産合計	1,644,992,982	1,751,106,142
負債純資産合計	1,667,664,030	1,764,452,767

（２）【中間損益及び剰余金計算書】

（単位：円）

	前中間計算期間 自 平成24年 3 月27日 至 平成24年 9 月26日	当中間計算期間 自 平成25年 3 月26日 至 平成25年 9 月25日
営業収益		
受取利息	5,375	5,990
有価証券売買等損益	31,268,843	145,569,719
営業収益合計	31,263,468	145,575,709
営業費用		
受託者報酬	360,263	456,960
委託者報酬	9,008,177	11,425,506
その他費用	35,251	44,721
営業費用合計	9,403,691	11,927,187
営業利益又は営業損失（ ）	40,667,159	133,648,522
経常利益又は経常損失（ ）	40,667,159	133,648,522
中間純利益又は中間純損失（ ）	40,667,159	133,648,522
一部解約に伴う中間純利益金額の分配額又は一部解約に伴う中間純損失金額の分配額（ ）	3,657,697	8,273,652
期首剰余金又は期首欠損金（ ）	170,445,290	397,641,201
剰余金増加額又は欠損金減少額	7,757,971	37,806,803
中間一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
中間追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	7,757,971	37,806,803
剰余金減少額又は欠損金増加額	10,723,617	38,535,398
中間一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	10,723,617	38,535,398
中間追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
中間剰余金又は中間欠損金（ ）	130,470,182	522,287,476

(3) 【中間注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	親投資信託受益証券 移動平均法に基づき当該親投資信託受益証券の基準価額で評価しております。
-----------------	--

(中間貸借対照表に関する注記)

		前計算期間末 平成25年 3月25日現在	当中間計算期間末 平成25年 9月25日現在
1.	期首元本額	1,236,817,495円	1,247,351,781円
	期中追加設定元本額	147,752,638円	101,529,192円
	期中一部解約元本額	137,218,352円	120,062,307円
2.	受益権の総数	1,247,351,781口	1,228,818,666口

(中間損益及び剰余金計算書に関する注記)

前中間計算期間 自 平成24年 3月27日 至 平成24年 9月26日	当中間計算期間 自 平成25年 3月26日 至 平成25年 9月25日
信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用 2,688,477円	信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用 3,467,023円

(金融商品に関する注記)

金融商品の時価等に関する事項

	前計算期間末 平成25年 3月25日現在	当中間計算期間末 平成25年 9月25日現在
中間貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	中間貸借対照表計上額は中間計算期間末日の時価で計上しているため、その差額はありません。
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

(1口当たり情報)

	前計算期間末 平成25年 3月25日現在	当中間計算期間末 平成25年 9月25日現在
1口当たり純資産額 (1万口当たり純資産額)	1.3188円 (13,188円)	1.4250円 (14,250円)

（参考）

当ファンドは、「日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド」「日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド」「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」「北米株式グローバル・ラップマザーファンド」「欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」「アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」「海外債券グローバル・ラップマザーファンド」を主要投資対象としており、中間貸借対照表の資産の部に計上された「親投資信託受益証券」は同親投資信託です。なお、同親投資信託の状況は次の通りです。

1. 「日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド」の状況
 なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド

（１）貸借対照表

（単位：円）

科目	対象年月日	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		215,928,493	198,926,345
株式		47,735,994,000	42,105,480,800
未収入金		144,700,645	414,205,965
未収配当金		62,875,150	17,328,400
未収利息		345	316
流動資産合計		48,159,498,633	42,735,941,826
資産合計		48,159,498,633	42,735,941,826
負債の部			
流動負債			
未払解約金		175,897,772	361,293,177
流動負債合計		175,897,772	361,293,177
負債合計		175,897,772	361,293,177
純資産の部			
元本等			
元本		37,542,604,948	27,833,680,261
剰余金			
剰余金又は欠損金（　）		10,440,995,913	14,540,968,388
元本等合計		47,983,600,861	42,374,648,649
純資産合計		47,983,600,861	42,374,648,649
負債純資産合計		48,159,498,633	42,735,941,826

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	株式は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
-----------------	---

(貸借対照表に関する注記)

		平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
1.	期首	平成24年 3月27日	平成25年 3月26日
	期首元本額	46,554,581,226円	37,542,604,948円
	期首からの追加設定元本額	523,402,793円	941,973,261円
	期首からの一部解約元本額	9,535,379,071円	10,650,897,948円
	元本の内訳		
	GW 7つの卵	19,399,809,153円	13,999,432,863円
	グローバル・ラップ・バランス 安定型	128,264円	100,704円
	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	622,015,423円	430,460,136円
	グローバル・ラップ・バランス 成長型	1,219,196,661円	910,054,958円
	グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	7,759,814,635円	5,976,180,008円
	グローバル・ラップ・バランス 積極型	3,465,954,477円	2,719,996,929円
	グローバル・ラップ・バランス 超積極型	3,534,275,457円	2,569,428,644円
	日本大型株式ファンド	175,050,104円	155,315,861円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	44,478,863円	36,141,552円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	138,500,001円	114,301,761円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）	197,595,539円	156,270,928円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	527,396,536円	401,808,974円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極型）	458,389,835円	364,186,943円
	計	37,542,604,948円	27,833,680,261円
2.	受益権の総数	37,542,604,948口	27,833,680,261口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（1口当たり情報）

平成25年 3月25日現在		平成25年 9月25日現在	
1口当たり純資産額	1.2781円	1口当たり純資産額	1.5224円
（1万口当たり純資産額）	（12,781円）	（1万口当たり純資産額）	（15,224円）

２．「日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド」の状況
 なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド

（１）貸借対照表

（単位：円）

科目	対象年月日	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		609,450,915	341,370,943
株式		16,559,639,100	14,537,881,500
未収入金		68,343,150	—
未収配当金		21,913,530	11,560,200
未収利息		974	542
流動資産合計		17,259,347,669	14,890,813,185
資産合計		17,259,347,669	14,890,813,185
負債の部			
流動負債			
未払金		111,389,306	—
未払解約金		147,945,631	138,828,724
流動負債合計		259,334,937	138,828,724
負債合計		259,334,937	138,828,724
純資産の部			
元本等			
元本		7,392,060,044	5,345,759,727
剰余金			
剰余金又は欠損金（　）		9,607,952,688	9,406,224,734
元本等合計		17,000,012,732	14,751,984,461
純資産合計		17,000,012,732	14,751,984,461
負債純資産合計		17,259,347,669	14,890,813,185

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	株式は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
-----------------	---

(貸借対照表に関する注記)

		平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
1.	期首	平成24年 3月27日	平成25年 3月26日
	期首元本額	9,023,082,692円	7,392,060,044円
	期首からの追加設定元本額	273,869,687円	161,256,096円
	期首からの一部解約元本額	1,904,892,335円	2,207,556,413円
	元本の内訳		
	GW 7つの卵	3,869,182,016円	2,719,394,790円
	グローバル・ラップ・バランス 安定型	53,099円	45,024円
	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	173,946,093円	123,668,589円
	グローバル・ラップ・バランス 成長型	325,552,423円	243,904,066円
	グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	1,545,810,529円	1,162,261,532円
	グローバル・ラップ・バランス 積極型	600,985,844円	457,353,110円
	グローバル・ラップ・バランス 超積極型	489,538,236円	320,005,726円
	日本小型株式ファンド	94,478,972円	89,022,941円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	18,810,782円	16,167,283円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	38,706,784円	32,962,680円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）	51,601,916円	41,898,900円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	104,006,701円	77,976,708円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極型）	79,386,649円	61,098,378円
	計	7,392,060,044円	5,345,759,727円
2.	受益権の総数	7,392,060,044口	5,345,759,727口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（1口当たり情報）

平成25年 3月25日現在		平成25年 9月25日現在	
1口当たり純資産額	2.2998円	1口当たり純資産額	2.7596円
（1万口当たり純資産額）	（22,998円）	（1万口当たり純資産額）	（27,596円）

３．「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」の状況
 なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

日本債券グローバル・ラップマザーファンド

（１）貸借対照表

（単位：円）

科目	対象年月日	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
コール・ローン		520,663,314	541,472,623
国債証券		33,982,972,000	26,880,913,284
地方債証券		114,828,000	113,920,000
特殊債券		3,037,034,000	3,001,645,230
社債券		11,911,116,972	14,916,677,184
未収入金		2,656,664,000	500,555,000
未収利息		77,488,526	76,273,326
前払費用		19,076,507	20,135,079
流動資産合計		52,319,843,319	46,051,591,726
資産合計		52,319,843,319	46,051,591,726
負債の部			
流動負債			
未払金		2,606,518,000	527,559,000
未払解約金		13,221,355	5,646,277
流動負債合計		2,619,739,355	533,205,277
負債合計		2,619,739,355	533,205,277
純資産の部			
元本等			
元本		40,465,008,619	37,112,495,832
剰余金			
剰余金又は欠損金（　）		9,235,095,345	8,405,890,617
元本等合計		49,700,103,964	45,518,386,449
純資産合計		49,700,103,964	45,518,386,449
負債純資産合計		52,319,843,319	46,051,591,726

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券は個別法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 金融商品取引所等の上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
-----------------	---

(貸借対照表に関する注記)

		平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
1.	期首	平成24年 3月27日	平成25年 3月26日
	期首元本額	41,673,248,685円	40,465,008,619円
	期首からの追加設定元本額	4,790,051,545円	2,839,831,248円
	期首からの一部解約元本額	5,998,291,611円	6,192,344,035円
	元本の内訳		
	GW 7つの卵	22,334,590,148円	20,039,304,087円
	グローバル・ラップ・バランス 安定型	935,548円	1,010,891円
	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	2,764,860,017円	2,484,907,572円
	グローバル・ラップ・バランス 成長型	3,338,805,411円	3,184,839,679円
	グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	8,801,671,506円	8,434,349,124円
	グローバル・ラップ・バランス 積極型	922,519,600円	660,060,017円
	日本債券ファンド	74,251,571円	62,605,563円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	354,538,123円	365,575,369円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	594,260,640円	649,437,235円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）	535,812,136円	560,593,590円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	617,756,094円	579,737,605円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極型）	125,007,825円	90,075,100円
	計	40,465,008,619円	37,112,495,832円
2.	受益権の総数	40,465,008,619口	37,112,495,832口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（1口当たり情報）

平成25年 3月25日現在		平成25年 9月25日現在	
1口当たり純資産額	1.2282円	1口当たり純資産額	1.2265円
（1万口当たり純資産額）	（12,282円）	（1万口当たり純資産額）	（12,265円）

４．「北米株式グローバル・ラップマザーファンド」の状況
 なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

北米株式グローバル・ラップマザーファンド

（１）貸借対照表

（単位：円）

科目	対象年月日	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
預金		852,884,737	396,392,095
コール・ローン		54,250,255	39,786,123
出資金		659,080,348	718,891,942
株式		39,696,230,023	46,720,245,686
投資証券		897,598,910	1,442,088,681
派生商品評価勘定		1,272,605	1,040,274
未収入金		1,163,963,925	754,503,916
未収配当金		31,611,721	38,174,272
未収利息		86	63
流動資産合計		43,356,892,610	50,111,123,052
資産合計		43,356,892,610	50,111,123,052
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		70,313	—
未払金		1,533,140,764	634,700,946
未払解約金		126,501,937	152,009,250
流動負債合計		1,659,713,014	786,710,196
負債合計		1,659,713,014	786,710,196
純資産の部			
元本等			
元本		33,239,209,347	33,886,968,653
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		8,457,970,249	15,437,444,203
元本等合計		41,697,179,596	49,324,412,856
純資産合計		41,697,179,596	49,324,412,856
負債純資産合計		43,356,892,610	50,111,123,052

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	出資金、株式及び投資証券は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

		平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
1.	期首	平成24年 3月27日	平成25年 3月26日
	期首元本額	44,692,584,124円	33,239,209,347円
	期首からの追加設定元本額	324,219,686円	3,763,025,895円
	期首からの一部解約元本額	11,777,594,463円	3,115,266,589円
	元本の内訳		
	GW 7つの卵	17,449,775,739円	17,149,022,129円
	グローバル・ラップ・バランス 安定型	142,447円	151,742円
	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	565,255,146円	526,362,396円
	グローバル・ラップ・バランス 成長型	1,051,209,944円	1,062,330,739円
	グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	6,942,893,750円	7,258,675,205円
	グローバル・ラップ・バランス 積極型	2,776,161,125円	2,995,073,780円
	グローバル・ラップ・バランス 超積極型	3,155,959,252円	3,527,737,244円
	北米株式ファンド	109,076,048円	98,153,128円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	50,614,405円	54,522,435円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	125,351,428円	139,734,669円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）	169,329,265円	183,711,159円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	475,051,301円	488,641,715円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極型）	368,389,497円	402,852,312円
	計	33,239,209,347円	33,886,968,653円
2.	受益権の総数	33,239,209,347口	33,886,968,653口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありませ	同左
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（通貨関連）

（平成25年3月25日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等		時 価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	7,262,220	—	7,290,666	28,446
	米ドル	7,262,220	—	7,290,666	28,446
	売建	126,501,937	—	125,328,091	1,173,846
	米ドル	126,501,937	—	125,328,091	1,173,846
合計		133,764,157	—	132,618,757	1,202,292

（平成25年9月25日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等		時 価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	売建	152,009,250	—	150,968,976	1,040,274
	米ドル	152,009,250	—	150,968,976	1,040,274
合計		152,009,250	—	150,968,976	1,040,274

（注）1. 時価の算定方法

- （1）本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

（２）本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（１口当たり情報）

平成25年 3月25日現在		平成25年 9月25日現在	
1口当たり純資産額	1.2545円	1口当たり純資産額	1.4556円
（ 1 万口当たり純資産額 ）	（ 12,545円 ）	（ 1 万口当たり純資産額 ）	（ 14,556円 ）

５．「欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」の状況
 なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド

（１）貸借対照表

（単位：円）

科目	対象年月日	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
預金		238,445,378	678,898,786
コール・ローン		35,357,552	20,109,819
株式		35,684,734,096	37,920,541,445
派生商品評価勘定		378,358	587,209
未収入金		42,782,190	51,253,660
未収配当金		80,784,200	71,978,806
未収利息		56	31
流動資産合計		36,082,481,830	38,743,369,756
資産合計		36,082,481,830	38,743,369,756
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		1,110,523	—
未払金		109,753,642	84,288,957
未払解約金		80,897,883	140,128,800
流動負債合計		191,762,048	224,417,757
負債合計		191,762,048	224,417,757
純資産の部			
元本等			
元本		18,225,321,527	16,660,838,595
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		17,665,398,255	21,858,113,404
元本等合計		35,890,719,782	38,518,951,999
純資産合計		35,890,719,782	38,518,951,999
負債純資産合計		36,082,481,830	38,743,369,756

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

		平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
1.	期首	平成24年 3月27日	平成25年 3月26日
	期首元本額	24,499,349,341円	18,225,321,527円
	期首からの追加設定元本額	177,401,522円	1,586,398,806円
	期首からの一部解約元本額	6,451,429,336円	3,150,881,738円
	元本の内訳		
	GW 7つの卵	9,252,008,267円	8,169,568,358円
	グローバル・ラップ・バランス 安定型	58,574円	59,758円
	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	262,530,095円	222,564,794円
	グローバル・ラップ・バランス 成長型	566,115,885円	515,500,021円
	グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	3,670,335,432円	3,470,182,528円
	グローバル・ラップ・バランス 積極型	1,596,872,188円	1,537,250,439円
	グローバル・ラップ・バランス 超積極型	2,147,898,268円	2,049,680,461円
	欧州先進国株式ファンド	94,498,433円	87,226,363円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	21,414,798円	21,375,278円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	57,924,961円	59,205,789円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）	91,081,435円	88,519,996円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	251,939,562円	233,635,191円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極型）	212,643,629円	206,069,619円
	計	18,225,321,527円	16,660,838,595円
2.	受益権の総数	18,225,321,527口	16,660,838,595口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（通貨関連）

（平成25年3月25日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等	うち1年超	時 価	評価損益
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	買建	81,058,081	—	80,976,350	81,731
	英ポンド	38,109,541	—	37,781,543	327,998
	スイスフラン	42,948,540	—	43,194,807	246,267
	売建	146,598,618	—	147,249,052	650,434
	ユーロ	146,598,618	—	147,249,052	650,434
合計		227,656,699	—	228,225,402	732,165

（平成25年9月25日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等	うち1年超	時 価	評価損益
市場取引以外の取引	為替予約取引				
	売建	140,020,975	—	139,433,766	587,209
	ユーロ	140,020,975	—	139,433,766	587,209
合計		140,020,975	—	139,433,766	587,209

（注）1.時価の算定方法

- （1）本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

（２）本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2. 換算において円未満の端数は切り捨てております。

3. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（１口当たり情報）

平成25年 3月25日現在		平成25年 9月25日現在	
1口当たり純資産額	1.9693円	1口当たり純資産額	2.3119円
（１万口当たり純資産額）	（19,693円）	（１万口当たり純資産額）	（23,119円）

6.「アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド」の状況
 なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド

（１）貸借対照表

（単位：円）

科目	対象年月日	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
預金		10,270,885	19,705,200
コール・ローン		127,772,024	116,247,744
株式		11,440,005,476	14,144,139,016
投資証券		233,567,020	170,154,037
未収配当金		83,405,467	108,527,065
未収利息		204	184
流動資産合計		11,895,021,076	14,558,773,246
資産合計		11,895,021,076	14,558,773,246
負債の部			
流動負債			
未払解約金		15,088,973	49,588,275
流動負債合計		15,088,973	49,588,275
負債合計		15,088,973	49,588,275
純資産の部			
元本等			
元本		2,528,105,089	3,024,543,583
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		9,351,827,014	11,484,641,388
元本等合計		11,879,932,103	14,509,184,971
純資産合計		11,879,932,103	14,509,184,971
負債純資産合計		11,895,021,076	14,558,773,246

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	株式及び投資証券は移動平均法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

		平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
1.	期首	平成24年 3月27日	平成25年 3月26日
	期首元本額	3,771,096,645円	2,528,105,089円
	期首からの追加設定元本額	110,843,938円	586,582,791円
	期首からの一部解約元本額	1,353,835,494円	90,144,297円
	元本の内訳		
	GW7つの卵	1,271,793,862円	1,475,840,209円
	グローバル・ラップ・バランス 安定型	8,222円	10,679円
	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	27,061,930円	32,301,292円
	グローバル・ラップ・バランス 成長型	63,428,973円	77,804,814円
	グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	503,799,767円	625,079,960円
	グローバル・ラップ・バランス 積極型	206,961,486円	262,020,167円
	グローバル・ラップ・バランス 超積極型	317,680,023円	394,962,109円
	アジア太平洋先進国株式ファンド	55,750,906円	53,668,704円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	2,964,392円	3,832,524円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	5,985,292円	8,623,508円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）	10,244,963円	13,409,718円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	34,749,192円	41,861,486円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極型）	27,676,081円	35,128,413円
	計	2,528,105,089円	3,024,543,583円
2.	受益権の総数	2,528,105,089口	3,024,543,583口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 該当事項はありません。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（1口当たり情報）

平成25年 3月25日現在		平成25年 9月25日現在	
1口当たり純資産額	4.6991円	1口当たり純資産額	4.7971円
（1万口当たり純資産額）	（46,991円）	（1万口当たり純資産額）	（47,971円）

7. 「海外債券グローバル・ラップマザーファンド」の状況
 なお、以下に記載した情報は監査の対象外であります。

海外債券グローバル・ラップマザーファンド

（１）貸借対照表

（単位：円）

科目	対象年月日	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
		金額	金額
資産の部			
流動資産			
預金		754,295,802	417,061,229
コール・ローン		10,042,509	10,230,598
国債証券		22,219,355,901	19,584,881,330
地方債証券		58,827,212	60,667,353
特殊債券		216,156,014	358,098,068
社債券		1,507,338,153	1,707,374,671
派生商品評価勘定		81,198,509	106,526,671
未収入金		72,668	160,458,747
未収利息		232,796,691	238,156,093
前払費用		12,655,205	8,481,623
差入委託証拠金		369,935,109	376,247,742
流動資産合計		25,462,673,773	23,028,184,125
資産合計		25,462,673,773	23,028,184,125
負債の部			
流動負債			
派生商品評価勘定		82,619,594	153,318,302
未払金		56,436,785	181,568,538
未払解約金		2,044,560	854,946
流動負債合計		141,100,939	335,741,786
負債合計		141,100,939	335,741,786
純資産の部			
元本等			
元本		12,647,151,331	10,853,225,637
剰余金			
剰余金又は欠損金（ ）		12,674,421,503	11,839,216,702
元本等合計		25,321,572,834	22,692,442,339
純資産合計		25,321,572,834	22,692,442,339
負債純資産合計		25,462,673,773	23,028,184,125

(2) 注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 有価証券の評価基準及び評価方法	国債証券、地方債証券、特殊債券及び社債券は個別法に基づき、以下のとおり原則として時価で評価しております。 (1) 金融商品取引所等に上場されている有価証券 金融商品取引所等に上場されている有価証券は、原則として金融商品取引所等における計算期間末日の最終相場（外貨建証券の場合は計算期間末日において知りうる直近の日の最終相場）で評価しております。 (2) 金融商品取引所等に上場されていない有価証券 当該有価証券については、原則として、日本証券業協会等発表の店頭売買参考統計値（平均値）等、金融商品取引業者、銀行等の提示する価額（ただし、売気配相場は使用しない）又は価格提供会社の提供する価額のいずれかから入手した価額で評価しております。 (3) 時価が入手できなかった有価証券 適正な評価額を入手できなかった場合又は入手した評価額が時価と認定できない事由が認められた場合は、投資信託委託会社が忠実義務に基づいて合理的な事由をもって時価と認めた価額もしくは受託者と協議のうえ両者が合理的な事由をもって時価と認めた価額で評価しております。
2. デリバティブ等の評価基準及び評価方法	(1) デリバティブ取引 個別法に基づき原則として時価で評価しております。 (2) 為替予約取引 原則として、わが国における計算期間末日の対顧客先物売買相場の仲値で評価しております。
3. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	外貨建取引等の処理基準 「投資信託財産の計算に関する規則」（平成12年総理府令第133号）第60条及び第61条にしたがって処理しております。

(貸借対照表に関する注記)

		平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
1.	期首	平成24年 3月27日	平成25年 3月26日
	期首元本額	12,637,158,436円	12,647,151,331円
	期首からの追加設定元本額	2,463,785,260円	722,152,279円
	期首からの一部解約元本額	2,453,792,365円	2,516,077,973円
	元本の内訳		
	GW 7つの卵	7,274,159,142円	6,072,244,561円
	グローバル・ラップ・バランス 安定型	75,904円	74,127円
	グローバル・ラップ・バランス 安定成長型	294,738,089円	240,792,248円
	グローバル・ラップ・バランス 成長型	502,074,390円	433,737,835円
	グローバル・ラップ・バランス 積極成長型	2,857,905,565円	2,555,316,151円
	グローバル・ラップ・バランス 積極型	1,062,875,232円	947,613,002円
	海外債券ファンド	139,145,281円	133,051,188円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定型）	28,362,768円	26,848,046円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（安定成長型）	63,975,673円	62,937,104円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）	81,256,051円	76,457,538円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極成長型）	199,613,681円	175,320,746円
	年金積立 グローバル・ラップ・バランス（積極型）	142,969,555円	128,833,091円
	計	12,647,151,331円	10,853,225,637円
2.	受益権の総数	12,647,151,331口	10,853,225,637口

当該親投資信託受益証券を投資対象とする投資信託ごとの元本額

（金融商品に関する注記）

金融商品の時価等に関する事項

	平成25年 3月25日現在	平成25年 9月25日現在
貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているため、その差額はありません。	同左
時価の算定方法	(1) 有価証券 売買目的有価証券 重要な会計方針に係る事項に関する注記「有価証券の評価基準及び評価方法」に記載しております。 (2) デリバティブ取引 「デリバティブ取引等に関する注記」に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 短期間で決済されることから、時価は帳簿価額と近似しているため、当該金融商品の時価を帳簿価額としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	同左

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（債券関連）

（平成25年3月25日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等		時 価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	債券先物取引				
	買建	4,455,967,690	—	4,464,284,327	8,316,637
	売建	2,461,361,928	—	2,487,909,278	26,547,350
	合計	6,917,329,618	—	6,952,193,605	18,230,713

（平成25年9月25日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等		時 価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	債券先物取引				
	買建	3,359,675,357	—	3,374,217,607	14,542,250
	売建	2,392,537,347	—	2,421,864,431	29,327,084
	合計	5,752,212,704	—	5,796,082,038	14,784,834

(注)1. 時価の算定方法

債券先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、同中間計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2.債券先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3.契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

また契約額等及び時価の邦貨換算は、本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。

4.契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（金利関連）

（平成25年3月25日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等		時 価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	金利先物取引				
	売建	141,842,216	—	141,776,316	65,900
	合計	141,842,216	—	141,776,316	65,900

（注）1.時価の算定方法

金利先物取引の時価については、以下のように評価しております。

原則として本書における開示対象ファンドの計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。このような時価が発表されていない場合には、同計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2.金利先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。

3.契約額等には手数料相当額を含んでおりません。

また契約額等及び時価の邦貨換算は、本書における開示対象ファンドの計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で行っております。

4.契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（平成25年9月25日現在）

該当事項はありません。

（通貨関連）

（平成25年3月25日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等		時 価	評価損益
			うち1年超		
市場取引以 外の取引	為替予約取引				
	買建	6,374,970,332	—	6,405,705,888	30,735,556
	米ドル	3,656,342,710	—	3,674,666,768	18,324,058
	加ドル	106,638,739	—	106,477,000	161,739
	豪ドル	329,214,524	—	334,838,520	5,623,996
	英ポンド	196,023,053	—	197,681,870	1,658,817
	スイスフラン	56,446,445	—	56,335,680	110,765
	シンガポールドル	38,887,672	—	38,960,640	72,968
	スウェーデンクローナ	128,525,256	—	127,951,740	573,516
	ノルウェークローネ	123,972,716	—	123,839,050	133,666
	デンマーククローネ	55,505,980	—	55,875,120	369,140
	メキシコペソ	248,623,640	—	251,918,600	3,294,960
	ポーランドズロチ	112,694,669	—	112,216,000	478,669
	南アフリカランド	80,638,068	—	78,754,500	1,883,568
	ユーロ	1,241,456,860	—	1,246,190,400	4,733,540
	売建	6,407,159,916	—	6,421,151,744	13,991,828
	米ドル	2,801,117,206	—	2,803,401,914	2,284,708
	加ドル	275,673,160	—	275,841,200	168,040
	豪ドル	236,462,900	—	239,256,360	2,793,460
	英ポンド	394,147,110	—	395,281,720	1,134,610
	スイスフラン	28,050,660	—	28,167,840	117,180
	シンガポールドル	19,420,160	—	19,484,160	64,000
	スウェーデンクローナ	321,919,230	—	317,991,540	3,927,690
	ノルウェークローネ	189,001,250	—	185,560,300	3,440,950
	デンマーククローネ	111,851,280	—	111,750,240	101,040
	メキシコペソ	235,702,550	—	244,273,920	8,571,370
	ポーランドズロチ	93,722,380	—	93,641,630	80,750
	南アフリカランド	39,861,000	—	39,474,000	387,000
	ユーロ	1,660,231,030	—	1,667,026,920	6,795,890
合計		12,782,130,248	—	12,826,857,632	16,743,728

（平成25年9月25日現在）

（単位：円）

区分	種 類	契約額等	うち1年超	時 価	評価損益
市場取引以 外の取引	為替予約取引				
	買建	13,369,572,349	—	13,414,649,737	45,077,388
	米ドル	7,979,416,019	—	8,007,644,197	28,228,178
	加ドル	688,189,811	—	692,272,500	4,082,689
	豪ドル	292,871,122	—	294,423,150	1,552,028
	英ポンド	667,463,769	—	672,321,430	4,857,661
	スイスフラン	11,539,210	—	11,668,320	129,110
	シンガポールドル	25,266,572	—	25,249,640	16,932
	ニュージーランドドル	199,225,958	—	199,116,250	109,708
	スウェーデンクローナ	304,761,175	—	305,580,300	819,125
	ノルウェークローネ	122,936,486	—	122,974,500	38,014
	デンマーククローネ	47,666,692	—	47,659,590	7,102
	メキシコペソ	65,743,934	—	64,823,340	920,594
	ポーランドズロチ	53,174,917	—	53,781,650	606,733
	南アフリカランド	70,478,273	—	71,820,000	1,341,727
	ユーロ	2,840,838,411	—	2,845,314,870	4,476,459
	売建	13,303,110,535	—	13,380,194,720	77,084,185
	米ドル	5,499,459,961	—	5,511,463,484	12,003,523
	加ドル	347,497,500	—	346,280,850	1,216,650
	豪ドル	356,900,830	—	356,793,150	107,680
	英ポンド	902,334,640	—	912,808,630	10,473,990
	スイスフラン	5,815,260	—	5,833,620	18,360
	シンガポールドル	47,255,090	—	47,897,960	642,870
	ニュージーランドドル	263,094,310	—	264,953,050	1,858,740
	スウェーデンクローナ	508,687,100	—	515,499,900	6,812,800
	ノルウェークローネ	178,605,690	—	179,220,740	615,050
	デンマーククローネ	94,410,360	—	95,345,910	935,550
	メキシコペソ	128,625,840	—	129,476,540	850,700
	ポーランドズロチ	27,210,700	—	26,920,680	290,020
	南アフリカランド	36,900,000	—	36,000,000	900,000
	ユーロ	4,906,313,254	—	4,951,700,206	45,386,952
合計		26,672,682,884	—	26,794,844,457	32,006,797

(注)1.時価の算定方法

(1) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されている外貨については、以下のように評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されている場合は、当該為替予約は当該仲値で評価しております。

同中間計算期間末日において為替予約の受渡日の対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない場合は、以下の方法によっております。

- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されている場合には、発表されている先物相場のうち当該日に最も近い前後二つの対顧客先物売買相場の仲値をもとに計算しております。
- ・ 同中間計算期間末日に為替予約の受渡日を超える対顧客先物売買相場が発表されていない場合には、当該日に最も近い発表されている対顧客先物売買相場の仲値を用いております。

(2) 本書における開示対象ファンドの中間計算期間末日に対顧客先物売買相場の仲値が発表されていない外貨については同中間計算期間末日の対顧客電信売買相場の仲値で評価しております。

2.換算において円未満の端数は切り捨てております。

3.契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

(1口当たり情報)

平成25年 3月25日現在		平成25年 9月25日現在	
1口当たり純資産額	2.0022円	1口当たり純資産額	2.0908円

（ 1 万口当たり純資産額）	（ 20,022円）	（ 1 万口当たり純資産額）	（ 20,908円）
----------------	------------	----------------	------------

4【委託会社等の概況】

(1)【資本金の額】

平成25年10月末現在	資本金	17,363,045,900円
	発行可能株式総数	230,000,000株
	発行済株式総数	197,012,500株

●過去5年間における主な資本金の増減

年月日	変更後（変更前）
平成21年10月1日	17,363,045,900円（16,403,045,900円）

(2)【事業の内容及び営業の状況】

- ・「投資信託及び投資法人に関する法律」に定める投資信託委託会社である委託会社は、証券投資信託の設定を行なうとともに「金融商品取引法」に定める金融商品取引業者としてその運用（投資運用業）を行なっています。また「金融商品取引法」に定める投資助言業務を行なっています。
- ・委託会社の運用する、平成25年10月末現在の投資信託などは次の通りです。

種 類	ファンド本数	純資産額 (単位：億円)
投資信託総合計	462	93,533
株式投資信託	402	73,342
単位型	44	878
追加型	358	72,463
公社債投資信託	60	20,190
単位型	44	450
追加型	16	19,740
投資法人合計	1	84

(3)【その他】

定款の変更

委託会社の定款の変更に関しては、株主総会の決議が必要です。

訴訟事件その他の重要事項

委託会社に重要な影響を与えた事実、または与えると予想される訴訟事件などは発生していません。

5【委託会社等の経理状況】

1. 当社の財務諸表は、「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（昭和38年大蔵省令第59号）並びに同規則第2条の規定により、「金融商品取引業等に関する内閣府令」（平成19年内閣府令第52号）に基づいて作成しております。

2. 当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第54期事業年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人により監査を受けております。

なお、当社の監査法人は次のとおり、交代しております。

第53期事業年度 あらた監査法人

第54期事業年度 有限責任 あずさ監査法人

（１）【貸借対照表】

(単位：百万円)

	第53期 (平成24年 3 月31日)		第54期 (平成25年 3 月31日)	
資産の部				
流動資産				
現金・預金	3	17,352	3	15,820
前払費用		332	3	380
未収入金		1		4
未収委託者報酬		5,872		7,472
未収収益	3	543	3	342
関係会社短期貸付金		33		606
立替金		1,094		335
繰延税金資産		1,084		869
その他	2	30	2	30
流動資産合計		26,345		25,862
固定資産				
有形固定資産				
建物	1	66	1	48
器具備品	1	137	1	124
有形固定資産合計		203		172
無形固定資産				
ソフトウェア		72		70
無形固定資産合計		72		70
投資その他の資産				
投資有価証券		3,002		7,170
関係会社株式		24,320		22,935
関係会社長期貸付金		60		60
長期差入保証金		774		706
繰延税金資産		723		500
投資その他の資産合計		28,880		31,373
固定資産合計		29,156		31,616
資産合計		55,502		57,478

(単位：百万円)

	第53期 (平成24年 3 月31日)	第54期 (平成25年 3 月31日)
負債の部		
流動負債		
預り金	194	305
未払金	3,086	3,862
未払収益分配金	7	6
未払償還金	129	115
未払手数料	3 2,486	3 3,195
その他未払金	462	545
未払費用	3 2,807	3 3,282
未払法人税等	1,295	589
未払消費税等	4 281	4 123
賞与引当金	2,039	1,770
役員賞与引当金	105	80
流動負債合計	9,809	10,012
固定負債		
退職給付引当金	907	1,001
その他	55	55
固定負債合計	963	1,057
負債合計	10,773	11,070
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,363	17,363
資本剰余金		
資本準備金	5,220	5,220
資本剰余金合計	5,220	5,220
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	22,172	23,530
利益剰余金合計	22,172	23,530
自己株式	68	68
株主資本合計	44,687	46,045
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	42	362
評価・換算差額等合計	42	362
純資産合計	44,729	46,408
負債純資産合計	55,502	57,478

（２）【損益計算書】

(単位：百万円)

	第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
営業収益		
委託者報酬	56,698	52,848
その他営業収益	2,025	1,922
営業収益合計	58,724	54,771
営業費用		
支払手数料	29,251	26,955
広告宣伝費	673	649
公告費	3	7
調査費	11,397	10,797
調査費	719	691
委託調査費	10,660	10,089
図書費	18	17
委託計算費	348	406
営業雑経費	577	530
通信費	206	188
印刷費	247	214
協会費	43	46
諸会費	9	16
その他	70	64
営業費用計	42,252	39,347
一般管理費		
給料	6,991	6,759
役員報酬	237	256
役員賞与引当金繰入額	105	80
給料・手当	4,508	4,565
賞与	101	87
賞与引当金繰入額	2,039	1,770
交際費	74	100
寄付金	111	66
旅費交通費	328	313
租税公課	145	188
不動産賃借料	749	753
退職給付費用	307	312
退職金	8	83
固定資産減価償却費	143	124
諸経費	3,110	3,061
一般管理費計	11,971	11,764
営業利益	4,500	3,659

(単位：百万円)

	第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)		第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)	
営業外収益				
受取利息		15		12
受取配当金	1	757	1	601
有価証券償還益		19		-
時効成立分配金・償還金		35		4
為替差益		-		64
その他		18		16
営業外収益合計		846		699
営業外費用				
支払利息		10		19
有価証券償還損		-		1
時効成立後支払分配金・償還金		77		15
支払源泉所得税		74		55
為替差損		35		-
弁護士報酬等		180		-
その他		4		2
営業外費用合計		381		93
経常利益		4,965		4,265
特別利益				
投資有価証券売却益		1		226
関係会社株式売却益		-		239
特別利益合計		1		465
特別損失				
投資有価証券売却損		0		84
固定資産処分損		6		3
役員退職一時金		369		75
特別損失合計		376		163
税引前当期純利益		4,590		4,568
法人税、住民税及び事業税		1,795		1,480
法人税等調整額		224		260
法人税等合計		2,020		1,740
当期純利益		2,570		2,827

（３）【株主資本等変動計算書】

(単位：百万円)

	第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	17,363	17,363
当期末残高	17,363	17,363
資本剰余金		
資本準備金		
当期首残高	5,220	5,220
当期末残高	5,220	5,220
その他資本剰余金		
当期首残高	4	-
当期変動額		
自己株式の処分	4	-
当期変動額合計	4	-
当期末残高	-	-
資本剰余金合計		
当期首残高	5,225	5,220
当期変動額		
自己株式の処分	4	-
当期変動額合計	4	-
当期末残高	5,220	5,220
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
当期首残高	21,703	22,172
当期変動額		
剰余金の配当	1,502	1,468
当期純利益	2,570	2,827
自己株式の処分	599	-
当期変動額合計	468	1,358
当期末残高	22,172	23,530
利益剰余金合計		
当期首残高	21,703	22,172
当期変動額		
剰余金の配当	1,502	1,468
当期純利益	2,570	2,827
自己株式の処分	599	-
当期変動額合計	468	1,358
当期末残高	22,172	23,530

(単位：百万円)

	第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
自己株式		
当期首残高	68	68
当期変動額		
自己株式の取得	8,700	-
自己株式の処分	8,700	-
当期変動額合計	-	-
当期末残高	68	68
株主資本合計		
当期首残高	44,224	44,687
当期変動額		
剰余金の配当	1,502	1,468
当期純利益	2,570	2,827
自己株式の取得	8,700	-
自己株式の処分	8,095	-
当期変動額合計	463	1,358
当期末残高	44,687	46,045
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	63	42
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	21	320
当期変動額合計	21	320
当期末残高	42	362
評価・換算差額等合計		
当期首残高	63	42
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	21	320
当期変動額合計	21	320
当期末残高	42	362
純資産合計		
当期首残高	44,287	44,729
当期変動額		
剰余金の配当	1,502	1,468
当期純利益	2,570	2,827
自己株式の取得	8,700	-
自己株式の処分	8,095	-
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	21	320
当期変動額合計	441	1,678
当期末残高	44,729	46,408

重要な会計方針

項目	第54期 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1 資産の評価基準及び評価方法	(1) 有価証券 子会社株式及び関連会社株式 総平均法による原価法 その他有価証券 時価のあるもの 決算末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は、全部純資産直入法により処理し、売却原価は、総平均法により算定) 時価のないもの 総平均法による原価法
2 固定資産の減価償却の方法	(1) 有形固定資産 定率法により償却しております。 なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。 建物 4年～5年 器具備品 4年～20年 (2) 無形固定資産 定額法により償却しております。ただし、ソフトウェア(自社利用分)については、社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法によっております。
3 引当金の計上基準	(1) 賞与引当金 従業員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき、当事業年度の負担額を計上しております。 (2) 役員賞与引当金 役員に支給する賞与の支払に充てるため、支払見込額に基づき、当事業年度の負担額を計上しております。 (3) 退職給付引当金 従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、計上しております。 数理計算上の差異は、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間以内の一定の年数(10年)按分した額をそれぞれ発生の翌事業年度から費用処理することとしております。
4 その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項	消費税等の会計処理 消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっており、控除対象外消費税等は、当事業年度の費用として処理しております。

会計方針の変更

第54期 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更) 当社は、法人税法の改正に伴い、当事業年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。 この変更による当事業年度の損益に与える影響は軽微であります。

未適用の会計基準等

1. 「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日）

- (1) 概要

当該会計基準等は、財務報告を改善する観点及び国際的な動向を踏まえ、主に 未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の処理方法を変更し、開示項目を拡充するほか、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を改正するものであります。

- (2) 適用予定日

当社は については、平成25年4月1日に開始する事業年度の年度末に係る財務諸表から適用し、 については、平成26年4月1日に開始する事業年度の期首から適用する予定であります。

- (3) 当該会計基準等の適用による影響

当該会計基準等の適用による影響は、現在評価中であります。

注記事項

（貸借対照表関係）

第53期 (平成24年3月31日)	第54期 (平成25年3月31日)
1 有形固定資産の減価償却累計額 建物 1,012百万円 器具備品 590百万円 2 信託資産 その他流動資産の30百万円は、「直販顧客分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に信託しております。 3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。 (流動資産) 現金・預金 5,802百万円 未収収益 217百万円 (流動負債) 未払手数料 42百万円 未払費用 259百万円 4 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。 5 保証債務 当社は、Nikko Asset Management Europe Ltd がロンドン ウォール リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務110百万円に対して保証を行っております。また当社は、Nikko Asset Management Americas, Inc. がマディソンタワー アソシエイツ リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務138百万円に対して保証を行っております。	1 有形固定資産の減価償却累計額 建物 1,054百万円 器具備品 618百万円 2 信託資産 その他流動資産の30百万円は、「直販顧客分別金信託契約」により、野村信託銀行株式会社に信託しております。 3 関係会社に対する資産及び負債は次のとおりであります。 (流動資産) 現金・預金 3,818百万円 前払費用 2百万円 未収収益 58百万円 (流動負債) 未払手数料 143百万円 未払費用 297百万円 4 消費税等の取扱い 仮払消費税等及び仮受消費税等は相殺のうえ、「未払消費税等」として表示しております。 5 保証債務 当社は、Nikko Asset Management Europe Ltd がロンドン ウォール リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務87百万円に対して保証を行っております。また当社は、Nikko Asset Management Americas, Inc. がマディソンタワー アソシエイツ リミテッド パートナーシップに支払うオフィス賃借料等の債務243百万円に対して保証を行っております。

（損益計算書関係）

第53期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	第54期 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 743百万円	1 各科目に含まれている関係会社に対するものは、次のとおりであります。 受取配当金 552百万円

（株主資本等変動計算書関係）

第53期（自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	197,012,500	-	-	197,012,500

2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	109,600	14,283,400	14,283,400	109,600

(注) 自己株式の増加は、自己株式の取得であり、自己株式の減少は、自己株式の処分であります。

3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の 目的となる 株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当事業年 度末残高 (百万円)
		当事業年度 期首	当事業年度 増加	当事業年度 減少	当事業 年度末	
平成21年度 ストックオプション(1)	普通株式	19,328,100	-	112,200	19,215,900	-
平成21年度 ストックオプション(2)	普通株式	1,702,800	-	26,400	1,676,400	-
平成22年度 ストックオプション(1)	普通株式	2,310,000	-	-	2,310,000	-
第1回新株予約権	普通株式	-	2,955,200	-	2,955,200	-
平成23年度 ストックオプション(1)	普通株式	-	6,101,700	9,900	6,091,800	-
合計		23,340,900	9,056,900	148,500	32,249,300	-

(注) 1 平成21年度ストックオプション(1)及び平成21年度ストックオプション(2)の減少は、新株予約権の失効によるものであります。

2 第1回新株予約権の増加は、新株予約権の発行によるものであります。第1回新株予約権の新株予約権の目的となる株式の数は、新株予約権の行使に関する通知が当社に提出された日における、当社の発行済株式数×0.25%に6を乗じた数で算出され、当事業年度末の発行済株式に基づき算出しております。

3 平成23年度ストックオプション(1)の増加は、新株予約権の発行によるものであり、減少は新株予約権の失効によるものであります。

4 平成21年度ストックオプション(1)9,837,300株、平成21年度ストックオプション(2)871,200株、平成22年度ストックオプション(1)1,155,000株及び第1回新株予約権2,955,200株は、当事業年度末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。また、平成23年度ストックオプション(1)は、権利行使期間の初日が到来していません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成23年5月23日 取締役会	普通株式	1,502	7.63	平成23年3月31日	平成23年6月22日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が当事業年度後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年5月28日 取締役会	普通株式	利益剰余金	1,468	7.46	平成24年3月31日	平成24年6月19日

第54期（自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）

1 発行済株式の種類及び総数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	197,012,500	-	-	197,012,500

2 自己株式の種類及び株式数に関する事項

株式の種類	当事業年度期首	当事業年度増加	当事業年度減少	当事業年度末
普通株式（株）	109,600	-	-	109,600

3 新株予約権等に関する事項

新株予約権の内訳	新株予約権の 目的となる 株式の種類	新株予約権の目的となる株式の数(株)				当事業年 度末残高 (百万円)
		当事業年度 期首	当事業年度 増加	当事業年度 減少	当事業 年度末	
平成21年度 ストックオプション（１）	普通株式	19,215,900	-	2,237,400	16,978,500	-
平成21年度 ストックオプション（２）	普通株式	1,676,400	-	49,500	1,626,900	-
平成22年度 ストックオプション（１）	普通株式	2,310,000	-	-	2,310,000	-
第１回新株予約権	普通株式	2,955,200	-	-	2,955,200	-
平成23年度 ストックオプション（１）	普通株式	6,091,800	-	161,700	5,930,100	-
合計		32,249,300	-	2,448,600	29,800,700	-

(注) 1 平成21年度ストックオプション(1)、平成21年度ストックオプション(2)及び平成23年度ストックオプション（１）の減少は、新株予約権の失効によるものであります。

2 第１回新株予約権の新株予約権の目的となる株式の数は、新株予約権の行使に関する通知が当社に提出された日における、当社の発行済株式数×0.25%に６を乗じた数で算出され、当事業年度末の発行済株式に基づき算出しております。

3 平成21年度ストックオプション(1)13,625,700株、平成21年度ストックオプション(2)1,287,000株、平成22年度ストックオプション(1)1,732,500株及び第１回新株予約権2,955,200株は、当事業年度末現在、権利行使期間の初日が到来しておりますが、他の条件が満たされていないため新株予約権を行使することができません。また、平成23年度ストックオプション(1)は、権利行使期間の初日が到来しておりません。

4 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年5月28日 取締役会	普通株式	1,468	7.46	平成24年3月31日	平成24年6月19日

(2) 基準日が当事業年度に属する配当のうち、配当の効力発生日が当事業年度後となるもの

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の 総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年5月27日 取締役会	普通株式	利益剰余金	1,380	7.01	平成25年3月31日	平成25年6月18日

(リース取引関係)

第53期 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)		第54期 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)	
オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料		オペレーティング・リース取引 解約不能のものに係る未経過リース料	
1年内	740百万円	1年内	750百万円
1年超	1,548百万円	1年超	807百万円
合計	2,288百万円	合計	1,558百万円

（金融商品関係）

第53期(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

1 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金に関しては10数行に分散して預入れしておりますが、これら金融機関の破綻及び債務不履行等による信用リスクに晒されており、また一部外貨建て預金を保有しているため為替変動リスクにも晒されております。営業債権である未収委託者報酬、未収収益に関しては、それらの源泉である預り純資産を数行の信託銀行に分散して委託しておりますが、信託銀行はその受託資産を自己勘定と分別して管理しているため、仮に信託銀行が破綻または債務不履行等となった場合でも、これら営業債権が信用リスクに晒されることは無いと考えております。また、グローバルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されます。投資有価証券は、主に自己で設定した投資信託へのシードマネーの投入によるものであります。これら投資信託の投資対象は株式、公社債等のため、価格変動リスクや信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクに晒されております。

営業債務である未払金（未払手数料）、未払費用に関しては、すべてが1年以内の支払期日であります。未払金（未払手数料）については、債権（未収委託者報酬）を資金回収した後に、販売会社へ当該債務を支払うフローとなっているため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。また未払費用のうち運用再委託先への顧問料支払に係るものについてもほとんどのものが、未払金同様のフローのため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。それ以外の営業費用及び一般管理費に係る未払費用に関しては、流動性リスクに晒されており、一部は外貨建て債務があるため、為替の変動リスクにも晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、預金を預入れる金融機関の選定に関しては、短期間の取引が想定される金融機関の場合を除き、相手方の財政状態及び経営成績、または必要に応じて格付等を考慮した上で決定しております。また既に取引が行われている相手方に関しても、定期的に継続したモニタリングを行うことで、相手方の財務状況の悪化等による信用リスクを早期に把握することで、リスクの軽減を図っております。

市場リスク（為替や価格等の変動リスク）の管理

当社は、原則、為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりません。外貨建ての営業債権債務について、月次ベースで為替変動リスクを測定し、モニタリングを実施しております。また投資有価証券に関しては、毎月末にそれぞれの時価を算出し、評価損益を把握しております。また、市場の変動等に基づき、今後の一定期間において特定の確率で、金融商品に生じ得る損失額の推計値を把握するため、バリュエーション・アット・リスクを用いた市場リスク管理を週次ベースで実施しております。これらの結果、当社の財政状態、経営成績に与える影響が著しいと判断される場合には、必要に応じて、ヘッジ取引規程に則り、それを回避する目的で、ヘッジ取引を行うことが可能であります。

流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、日々資金残高管理を行っております。また、適時に資金繰予定表を作成・更新するとともに、手許流動性（最低限必要な運転資金）を状況に応じて見直し・維持することなどにより、流動性リスクを管理しております。

2 金融商品の時価等に関する事項

平成24年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額()	時価()	差額
(1) 現金及び預金	17,352	17,352	-
(2) 未収委託者報酬	5,872	5,872	-
(3) 未収収益	543	543	-
(4) 投資有価証券			
その他有価証券	2,854	2,854	-
(5) 関係会社株式			
関連会社株式	1,404	1,615	210
(6) 未払金	(3,086)	(3,086)	-
(7) 未払費用	(2,807)	(2,807)	-

()負債に計上されているものについては、()で示しております。

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 未収委託者報酬並びに(3) 未収収益

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券及び(5) 関係会社株式

これらの時価について、株式は市場価格、投資信託は基準価額によっております。

(6) 未払金及び(7) 未払費用

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

2 非上場株式等（貸借対照表計上額147百万円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)投資有価証券 その他有価証券」には含めておりません。

3 子会社株式（貸借対照表計上額20,023百万円）及び関連会社株式（貸借対照表計上額2,892百万円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(5)関係会社株式」には含めておりません。

4 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	17,352	-	-	-
未収委託者報酬	5,872	-	-	-
未収収益	543	-	-	-
投資有価証券				
投資信託	-	362	479	439
合計	23,768	362	479	439

第54期(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1 金融商品の状況に関する事項

(1) 金融商品に対する取組方針

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定しております。

(2) 金融商品の内容及びそのリスク

預金に関しては10数行に分散して預入れしておりますが、これら金融機関の破綻及び債務不履行等による信用リスクに晒されており、また一部外貨建て預金を保有しているため為替変動リスクにも晒されております。営業債権である未収委託者報酬、未収収益に関しては、それらの源泉である預り純資産を数行の信託銀行に分散して委託しておりますが、信託銀行はその受託資産を自己勘定と分別して管理しているため、仮に信託銀行が破綻または債務不履行等となった場合でも、これら営業債権が信用リスクに晒されることは無いと考えております。また、グローバルに事業を展開していることから生じている外貨建ての営業債権は、為替の変動リスクに晒されます。投資有価証券は、主に自己で設定した投資信託へのシードマネーの投入によるものであります。これら投資信託の投資対象は株式、公社債等のため、価格変動リスクや信用リスク、流動性リスク、為替変動リスクに晒されております。

営業債務である未払金（未払手数料）、未払費用に関しては、すべてが1年以内の支払期日であります。未払金（未払手数料）については、債権（未収委託者報酬）を資金回収した後に、販売会社へ当該債務を支払うフローとなっているため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。また未払費用のうち運用再委託先への顧問料支払に係るものについてもほとんどのものが、未払金同様のフローのため、流動性リスクに晒されることは無いと考えております。それ以外の営業費用及び一般管理費に係る未払費用に関しては、流動性リスクに晒されており、一部は外貨建て債務があるため、為替の変動リスクにも晒されております。

(3) 金融商品に係るリスク管理体制

信用リスク（取引先の契約不履行等に係るリスク）の管理

当社は、預金を預入れる金融機関の選定に関しては、短期間の取引が想定される金融機関の場合を除き、相手方の財政状態及び経営成績、または必要に応じて格付等を考慮した上で決定しております。また既に取引が行われている相手方に関しても、定期的に継続したモニタリングを行うことで、相手方の財務状況の悪化等による信用リスクを早期に把握することで、リスクの軽減を図っております。

市場リスク（為替や価格等の変動リスク）の管理

当社は、原則、為替変動や価格変動に係るリスクに対して、ヘッジ取引を行っておりません。外貨建ての営業債権債務について、月次ベースで為替変動リスクを測定し、モニタリングを実施しております。また投資有価証券に関しては、毎月末にそれぞれの時価を算出し、評価損益を把握しております。また、市場の変動等に基づき、今後の一定期間において特定の確率で、金融商品に生じ得る損失額の推計値を把握するため、バリュエーション・アット・リスクを用いた市場リスク管理を週次ベースで実施しております。これらの結果、当社の財政状態、経営成績に与える影響が著しいと判断される場合には、必要に応じて、ヘッジ取引規程に則り、それを回避する目的で、ヘッジ取引を行うことが可能であります。

流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、日々資金残高管理を行っております。また、適時に資金繰予定表を作成・更新するとともに、手許流動性（最低限必要な運転資金）を状況に応じて見直し・維持することなどにより、流動性リスクを管理しております。

2 金融商品の時価等に関する事項

平成25年3月31日（当期の決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めておりません。

（単位：百万円）

	貸借対照表 計上額()	時価()	差額
(1) 現金及び預金	15,820	15,820	-
(2) 未収委託者報酬	7,472	7,472	-
(3) 未収収益	342	342	-
(4) 投資有価証券			
その他有価証券	7,091	7,091	-
(5) 未払金	(3,862)	(3,862)	-
(6) 未払費用	(3,282)	(3,282)	-

() 負債に計上されているものについては、() で示しております。

(注) 1 金融商品の時価の算定方法並びに有価証券に関する事項

(1) 現金及び預金、(2) 未収委託者報酬並びに(3) 未収収益

これらは短期間で決済され、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

(4) 投資有価証券

投資信託は基準価額によっております。

(5) 未払金及び(6) 未払費用

これらは短期間で決済され、時価は帳簿価額にほぼ等しいことから、当該帳簿価額によっております。

2 非上場株式等（貸借対照表計上額79百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、「(4)投資有価証券 その他有価証券」には含めておりません。

3 子会社株式（貸借対照表計上額20,042百万円）及び関連会社株式（貸借対照表計上額2,892百万円）は、市場価格がなく、かつ将来キャッシュ・フローを見積ること等ができず、時価を把握することが極めて困難と認められるため、上記の表には含めておりません。

4 金銭債権及び満期のある有価証券の決算日後の償還予定額

（単位：百万円）

	1年以内	1年超5年以内	5年超10年以内	10年超
現金及び預金	15,820	-	-	-
未収委託者報酬	7,472	-	-	-
未収収益	342	-	-	-
投資有価証券				
投資信託	-	385	1,299	920
合計	23,635	385	1,299	920

（有価証券関係）

第53期(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

1 子会社株式及び関連会社株式

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
関連会社株式	1,404	1,615	210
合計	1,404	1,615	210

（注）時価を把握することが極めて困難と認められる子会社株式及び関連会社株式

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額
子会社株式	20,023
関連会社株式	2,892

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「子会社株式及び関連会社株式」には含めておりません。

2 その他有価証券

（単位：百万円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額 が取得原価を超えるもの	株式	35	7	28
	その他	1,177	999	177
	小計	1,212	1,006	206
貸借対照表計上額 が取得原価を超えないもの	その他	1,642	1,784	141
	小計	1,642	1,784	141
合計		2,854	2,790	64

（注）1 減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。当事業年度については、該当ございません。

2 非上場株式等（貸借対照表計上額 147百万円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3 当事業年度中に売却したその他有価証券

（単位：百万円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
投資信託	112	1	0
合計	112	1	0

第54期(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1 子会社株式及び関連会社株式

子会社株式及び関連会社株式は市場価格がなく時価を把握することが極めて困難と認められるため、子会社株式及び関連会社株式の時価を記載しておりません。

なお、時価を把握することが極めて困難と認められる子会社株式及び関連会社株式の貸借対照表計上額は次のとおりです。

（単位：百万円）

	貸借対照表計上額
子会社株式	20,042
関連会社株式	2,892

2 その他有価証券

（単位：百万円）

	種類	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額 が取得原価を超えるもの	その他	6,366	5,708	658
	小計	6,366	5,708	658
貸借対照表計上額 が取得原価を超えないもの	その他	724	821	96
	小計	724	821	96
合計		7,091	6,529	561

(注) 1 減損処理にあたっては、期末における時価が取得原価に比べ50%以上下落した場合にはすべて減損処理を行い、30%～50%程度下落した場合には、当該金額の重要性、回復可能性等を考慮して必要と認められた額について減損処理を行っております。当事業年度については、該当ございません。

2 非上場株式等（貸借対照表計上額 79百万円）については、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから、上表の「その他有価証券」には含めておりません。

3 当事業年度中に売却したその他有価証券

（単位：百万円）

種類	売却額	売却益の合計額	売却損の合計額
株式	43	35	67
投資信託	1,099	190	17
合計	1,143	226	84

（持分法損益等）

第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等 (単位：百万円) (1) 関連会社に対する投資の金額 4,407 (2) 持分法を適用した場合の投資の金額 6,834 (3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額 927	関連会社に持分法を適用した場合の投資損益等 (単位：百万円) (1) 関連会社に対する投資の金額 3,069 (2) 持分法を適用した場合の投資の金額 6,280 (3) 持分法を適用した場合の投資利益の金額 1,159

（退職給付関係）

第53期 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)	第54期 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)
1 採用している退職給付制度の概要 当社は、確定拠出型企業年金制度及びキャッシュ バランスプラン型退職金制度を設けております。 2 退職給付債務に関する事項 (単位：百万円) イ 退職給付債務 985 ロ 未積立退職給付債務 985 ハ 未認識数理計算上の差異 77 ニ 退職給付引当金残高 907 3 退職給付費用に関する事項 (単位：百万円) イ 勤務費用 97 ロ 利息費用 14 ハ 数理計算上の差異の費用処理額 27 ニ 確定拠出型企業年金への掛金 168 ホ 退職給付費用合計 307 4 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項 イ 退職給付見込額の期間配分方法 勤続期間比例 ロ 割引率 1.4% ハ 数理計算上の差異の処理年数 10年	1 採用している退職給付制度の概要 当社は、確定拠出型企業年金制度及びキャッシュ バランスプラン型退職金制度を設けております。 2 退職給付債務に関する事項 (単位：百万円) イ 退職給付債務 1,101 ロ 未積立退職給付債務 1,101 ハ 未認識数理計算上の差異 99 ニ 退職給付引当金残高 1,001 3 退職給付費用に関する事項 (単位：百万円) イ 勤務費用 102 ロ 利息費用 13 ハ 数理計算上の差異の費用処理額 24 ニ 確定拠出型企業年金への掛金 171 ホ 退職給付費用合計 312 4 退職給付債務等の計算の基礎に関する事項 イ 退職給付見込額の期間配分方法 勤続期間比例 ロ 割引率 0.9% ハ 数理計算上の差異の処理年数 10年

（ストックオプション等関係）

第53期(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

1 スtockオプション(新株予約権)の内容、規模及びその変動状況

(1) スtockオプション(新株予約権)の内容

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 271名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 48名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 19,724,100株	普通株式 1,702,800株
付与日	平成22年2月8日	平成22年8月20日
権利確定条件	平成24年1月22日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	同左
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	同左
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	同左

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社の従業員 1名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 186名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 2,310,000株	普通株式 6,101,700株
付与日	平成22年8月20日	平成23年10月7日
権利確定条件	平成24年1月22日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	平成25年10月7日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	平成25年10月7日から 平成33年10月6日まで

（注） 株式数に換算して記載しております。

(2) ストックオプション(新株予約権)の規模及びその変動状況

ストックオプション（新株予約権）の数

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年 2 月 8 日	平成22年 8 月20日
権利確定前(株)		
期首	19,328,100	1,702,800
付与	0	0
失効	112,200	26,400
権利確定	0	0
権利未確定残	19,215,900	1,676,400
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与日	平成22年 8 月20日	平成23年10月 7 日
権利確定前(株)		
期首	2,310,000	-
付与	0	6,101,700
失効	0	9,900
権利確定	0	0
権利未確定残	2,310,000	6,091,800
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

(注) 株式数に換算して記載しております。

単価情報

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年 2 月 8 日	平成22年 8 月20日
権利行使価格(円)	625	625
付与日における公正な評価単価 (円) (注) 1	0	0

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与日	平成22年 8 月20日	平成23年10月7日
権利行使価格(円)	625	737 (注) 3
付与日における公正な評価単価 (円) (注) 1	0	0

(注) 1 公正な評価単価に代え、本源的価値（取引事例比準法による評価額と行使価格との差額）の見積りによっております。

2 スtockオプションの単位当たりの本源的価値による算定を行った場合の本源的価値の合計額
当事業年度末における本源的価値の合計額 - 百万円

3 株式公開価格が737円（割当日後、株式の分割又は併合が行われたときは、当該金額は、当該株式の分割又は併合の内容を適切に反映するよう調整される。）を上回る金額に定められた場合には、株式公開日において、権利行使価格は株式公開価格と同一の金額に調整されます。

第54期(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1 スtockオプション(新株予約権)の内容、規模及びその変動状況

(1) スtockオプション(新株予約権)の内容

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与対象者の区分及び人数	当社及び関係会社の 取締役・従業員 271名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 48名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 19,724,100株	普通株式 1,702,800株
付与日	平成22年2月8日	平成22年8月20日
権利確定条件	平成24年1月22日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	同左
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	同左
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	同左

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与対象者の区分及び人数	当社の従業員 1名	当社及び関係会社の 取締役・従業員 186名
株式の種類別のストックオプションの付与数（注）	普通株式 2,310,000株	普通株式 6,101,700株
付与日	平成22年8月20日	平成23年10月7日
権利確定条件	平成24年1月22日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。	平成25年10月7日（以下「権利行使可能初日」といいます。）、当該権利行使可能初日から1年経過した日の翌日、及び当該権利行使可能初日から2年経過した日の翌日まで原則として従業員等の地位にあることを要し、それぞれ保有する新株予約権の2分の1、4分の1、4分の1ずつ権利確定する。ただし、本新株予約権の行使時において、当社が株式公開していることを要する。
対象勤務期間	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで	付与日から、権利行使可能初日から2年を経過した日まで
権利行使期間	平成24年1月22日から 平成32年1月21日まで	平成25年10月7日から 平成33年10月6日まで

（注）株式数に換算して記載しております。

(2) ストックオプション(新株予約権)の規模及びその変動状況

ストックオプション（新株予約権）の数

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年 2 月 8 日	平成22年 8 月20日
権利確定前(株)		
期首	19,215,900	1,676,400
付与	0	0
失効	2,237,400	49,500
権利確定	0	0
権利未確定残	16,978,500	1,626,900
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与日	平成22年 8 月20日	平成23年10月 7 日
権利確定前(株)		
期首	2,310,000	6,091,800
付与	0	0
失効	0	161,700
権利確定	0	0
権利未確定残	2,310,000	5,930,100
権利確定後(株)		
期首	-	-
権利確定	-	-
権利行使	-	-
失効	-	-
権利未行使残	-	-

(注) 株式数に換算して記載しております。

単価情報

	平成21年度ストックオプション(1)	平成21年度ストックオプション(2)
付与日	平成22年 2 月 8 日	平成22年 8 月20日
権利行使価格(円)	625	625
付与日における公正な評価単価 (円) (注) 1	0	0

	平成22年度ストックオプション(1)	平成23年度ストックオプション(1)
付与日	平成22年 8 月20日	平成23年10月7日
権利行使価格(円)	625	737 (注) 3
付与日における公正な評価単価 (円) (注) 1	0	0

(注) 1 公正な評価単価に代え、本源的価値（取引事例比準法による評価額と行使価格との差額）の見積りによっております。

2 スtockオプションの単位当たりの本源的価値による算定を行った場合の本源的価値の合計額
当事業年度末における本源的価値の合計額 - 百万円

3 株式公開価格が737円（割当日後、株式の分割又は併合が行われたときは、当該金額は、当該株式の分割又は併合の内容を適切に反映するよう調整される。）を上回る金額に定められた場合には、株式公開日において、権利行使価格は株式公開価格と同一の金額に調整されます。

(税効果会計関係)

第53期 (平成24年3月31日)		第54期 (平成25年3月31日)	
1	繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (単位：百万円)	1	繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳 (単位：百万円)
	繰延税金資産(流動)		繰延税金資産(流動)
	賞与引当金繰入超過額		賞与引当金繰入超過額
	775		672
	その他		その他
	309		196
	小計		小計
	1,084		869
	繰延税金資産(固定)		繰延税金資産(固定)
	投資有価証券評価損		投資有価証券評価損
	52		149
	関係会社株式評価損		退職給付引当金超過額
	205		361
	退職給付引当金超過額		固定資産減価償却超過額
	329		174
	固定資産減価償却超過額		その他
	190		75
	その他		小計
	28		760
	小計		繰延税金資産小計
	806		1,630
	繰延税金資産小計		評価性引当金
	1,890		61
	評価性引当金		繰延税金資産合計
	61		1,568
	繰延税金資産合計		繰延税金負債(固定)
	1,829		その他有価証券評価差額金
			199
	繰延税金負債(固定)		繰延税金負債合計
	その他有価証券評価差額金		199
	22		繰延税金資産の純額
	繰延税金負債合計		1,369
	22		
	繰延税金資産の純額		
	1,807		
2	法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳	2	法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳
	法定実効税率		法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間の差異が法定実効税率の100分の5以下であるため注記を省略しております。
	40.6%		
	(調整)		
	交際費等永久に損金に算入されない項目		
	2.5%		
	受取配当金等永久に益金に算入されない項目		
	5.6%		
	税率変更による期末繰延税金資産の減額修正		
	3.8%		
	海外子会社の留保利益の影響額等		
	2.7%		
	税効果会計適用後の法人税等の負担率		
	44.0%		

第53期 (平成24年 3 月31日)	第54期 (平成25年 3 月31日)
3 法定実効税率の変更による繰延税金資産及び繰延税金負債の金額の修正 経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律及び東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法が平成23年12月2日に公布されたことに伴い、当事業年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算（ただし、平成24年4月1日以降解消されるものに限り）に使用した法定実効税率は、前事業年度の40.6%から、回収又は支払が見込まれる期間が平成24年4月1日から平成27年3月31日までのものは38.0%、平成27年4月1日以降のものについては35.6%にそれぞれ変更されております。 その結果、繰延税金資産の金額（繰延税金負債を控除した金額）が170百万円減少し、当事業年度に計上された法人税等調整額が174百万円、その他有価証券評価差額金額が4百万円、それぞれ増加しております。	-

（関連当事者情報）

第53期(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

1 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社

種類	会社等の 名称又は 氏名	所在地	資本金又は 出資金 (百万円)	事業の 内容	議決権等の 所有(被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
親会社	住友信託銀行株式会社 (注)3	大阪市 中央区	342,037	信託 銀行業	(被所有) 直接 91.34 (注)2	投資信託 受益証券の 募集販売	自己株式の 取得(注)1	8,700	-	-

上記の金額のうち、取引金額には消費税が含まれておりません。

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 1 当社株式14,283,400株を1株につき609.10円で取得したものであります。
- 2 議決権等の被所有割合は、自己株式（109,600株）を控除して計算しております。
- 3 住友信託銀行株式会社は、平成24年4月1日付で中央三井信託銀行株式会社及び中央三井アセット信託銀行株式会社を吸収合併し、三井住友信託銀行株式会社に社名を変更しております。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の 名称又は氏 名	所在地	資本金又は 出資金 (千SGD)	事業の 内容	議決権等の 所有(被所有) 割合(%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	Nikko Asset Management International Limited	シンガ ポール国	252,000	アセット マネジメ ント業	直接 100.00	-	増資の引受 (注1)	8,095	-	-
							株式売買代 金相当額の 引受 (注2)	8,095	-	-

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 1 Nikko Asset Management Singapore Limitedの行った137,000,000株の新株発行増資を、1株につき1シンガポールドルで当社が引受けたものであります。なお、Nikko Asset Management Singapore Limitedは、当事業年度中にNikko Asset Management International Limited に社名を変更しております。
- 2 DBS Asset Management Ltd (現社名Nikko Asset Management Asia Limited) 株式の売買代金相当額をNikko Asset Management Singapore Limited (現社名Nikko Asset Management International Limited) から当社が受領したものであります。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社（東京証券取引所等に上場）

住友信託銀行株式会社（非上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

当事業年度において、重要な関連会社は融通(ロントン)基金管理有限公司であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。なお、下記数値は平成23年12月31日に終了した年度の財務諸表を当日の直物為替相場で円貨に換算したものであります。

資産合計	9,309百万円
負債合計	1,103百万円
純資産合計	8,206百万円

営業収益	7,961百万円
税引前当期純利益	2,868百万円
当期純利益	2,181百万円

第54期(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

1 関連当事者との取引

(1) 財務諸表提出会社と関連当事者の取引

(ア) 財務諸表提出会社の親会社

重要な該当事項はありません。

(イ) 財務諸表提出会社の子会社

種類	会社等の 名称又は 氏名	所在地	資本金は 出資金 (千SGD)	事業 の 内容	議決権 等の 所有 (被所有) 割合 (%)	関連 当事者 との 関係	取引の内容	取引金額 (百万円)	科目	期末残高 (百万円)
子会社	Nikko Asset Management International Limited	シンガ ポール 国	252,000	アセット マネジメ ント業	直接 100.00	資金の 貸付	資金の貸付 (シンガポールド ル貸建) (注1)	525 (千SGD8,000)	関係 会社 短期 貸付 金	606 (千SGD8,000)
							貸付金利息 (シンガポールド ル貸建) (注1)	5 (千SGD76)	未収 収益	5 (千SGD76)

(注) 取引条件及び取引条件の決定方針等

- 融資枠SGD11百万、返済期間1年間のリボルビング・ローンで、金利は市場金利を勘案して決定しております。

2 親会社又は重要な関連会社に関する注記

(1) 親会社情報

三井住友トラスト・ホールディングス株式会社（東京証券取引所等に上場）

三井住友信託銀行株式会社（非上場）

(2) 重要な関連会社の要約財務情報

当事業年度において、重要な関連会社は融通(ロントン)基金管理有限公司であり、その要約財務情報は以下のとおりであります。なお、下記数値は平成24年12月31日に終了した年度の財務諸表を当日の直物為替相場で円貨に換算したものであります。

資産合計	10,930百万円
負債合計	1,103百万円
純資産合計	9,826百万円

営業収益	7,917百万円
税引前当期純利益	2,801百万円
当期純利益	2,091百万円

（セグメント情報等）

セグメント情報

第53期(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

第54期(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)

当社はアセットマネジメント業の単一セグメントであるため、記載しておりません。

関連情報

第53期(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。

2 地域ごとの情報

（ 1 ）営業収益

国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。

（ 2 ）有形固定資産

国外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無いため、記載しておりません。

第54期(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)

1 製品及びサービスごとの情報

当社の製品及びサービスはアセットマネジメント業として単一であるため、記載しておりません。

2 地域ごとの情報

（ 1 ）営業収益

国内の外部顧客への営業収益に分類した額が営業収益の90%超であるため、記載を省略しております。

（ 2 ）有形固定資産

国外に所在している有形固定資産が無いため、該当事項はありません。

3 主要な顧客ごとの情報

営業収益の10%以上を占める単一の外部顧客が無いため、記載しておりません。

報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

第53期(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)

該当事項はありません。

第54期(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

第53期(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)

該当事項はありません。

第54期(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)

該当事項はありません。

報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

第53期(自 平成23年 4 月 1 日 至 平成24年 3 月31日)

該当事項はありません。

第54期(自 平成24年 4 月 1 日 至 平成25年 3 月31日)

該当事項はありません。

（１株当たり情報）

項目	第53期 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)	第54期 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)
1株当たり純資産額	227円16銭	235円69銭
1株当たり当期純利益金額	13円09銭	14円35銭

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、新株予約権の残高はありますが、当社株式が非上場であるため、期中平均株価が把握できませんので、希薄化効果を算定できないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第53期 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)	第54期 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)
1株当たり当期純利益金額		
当期純利益（百万円）	2,570	2,827
普通株主に帰属しない金額（百万円）	-	-
普通株式に係る当期純利益（百万円）	2,570	2,827
普通株式の期中平均株式数（千株）	196,278	196,903
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定に含まれなかった潜在株式の概要	平成21年度ストックオプション(1) 19,215,900株、平成21年度ストックオプション(2) 1,676,400株、平成22年度ストックオプション(1) 2,310,000株、第1回新株予約権2,955,200株、平成23年度ストックオプション(1) 6,091,800株	平成21年度ストックオプション(1) 16,978,500株、平成21年度ストックオプション(2) 1,626,900株、平成22年度ストックオプション(1) 2,310,000株、第1回新株予約権2,955,200株、平成23年度ストックオプション(1) 5,930,100株

3 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	第53期 (平成24年 3月31日)	第54期 (平成25年 3月31日)
純資産の部の合計額（百万円）	44,729	46,408
純資産の部の合計額から控除する金額（百万円）	-	-
普通株式に係る期末の純資産額（百万円）	44,729	46,408
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（千株）	196,903	196,903

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

独立監査人の中間監査報告書

平成25年11月6日

日興アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

あらた監査法人

指定社員 公認会計士 佐々木 貴司
業務執行社員

指定社員 公認会計士 鶴田 光夫
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「ファンドの経理状況」に掲げられている年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）の平成25年3月26日から平成25年9月25日までの中間計算期間の中間財務諸表、すなわち、中間貸借対照表、中間損益及び剰余金計算書並びに中間注記表について中間監査を行った。

中間財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して中間財務諸表を作成し有用な情報を表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない中間財務諸表を作成し有用な情報を表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した中間監査に基づいて、独立の立場から中間財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる中間監査の基準に準拠して中間監査を行った。中間監査の基準は、当監査法人に中間財務諸表には全体として中間財務諸表の有用な情報の表示に関して投資者の判断を損なうような重要な虚偽表示がないかどうかの合理的な保証を得るために、中間監査に係る監査計画を策定し、これに基づき中間監査を実施することを求めている。

中間監査においては、中間財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するために年度監査と比べて監査手続の一部を省略した中間監査手続が実施される。中間監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による中間財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて、分析的手続等を中心とした監査手続に必要に応じて追加の監査手続が選択及び適用される。中間監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な中間監査手続を立案するために、中間財務諸表の作成と有用な情報の表示に関連する内部統制を検討する。また、中間監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め中間財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、中間監査の意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

中間監査意見

当監査法人は、上記の中間財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる中間財務諸表の作成基準に準拠して、年金積立 グローバル・ラップ・バランス（成長型）の平成25年9月25日現在の信託財産の状態及び同日をもって終了する中間計算期間（平成25年3月26日から平成25年9月25日まで）の損益の状況に関する有用な情報を表示しているものと認める。

利害関係

日興アセットマネジメント株式会社及びファンドと当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

（注）１．上記は、当社が、中間監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。

２．中間財務諸表の範囲にはX B R L データ自体は含まれておりません。

[次へ](#)

独立監査人の監査報告書

平成25年6月14日

日興アセットマネジメント株式会社

取締役会御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 羽 太 典 明
業 務 執 行 社 員

指定有限責任社員 公認会計士 秋 宗 勝 彦
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づく監査証明を行うため、「委託会社等の経理状況」に掲げられている日興アセットマネジメント株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの第54期事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書、重要な会計方針及びその他の注記について監査を行った。

財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、当監査法人に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、当監査法人の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、当監査法人は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、経営者が採用した会計方針及びその適用方法並びに経営者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

当監査法人は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

当監査法人は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して、日興アセットマネジメント株式会社の平成25年3月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する事業年度の経営成績をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

その他の事項

会社の平成24年3月31日をもって終了した前事業年度の財務諸表は、前任監査人によって監査されている。前任監査人は、当該財務諸表に対して平成24年6月15日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

（注）上記は、当社が、監査報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社が別途保管しております。